

平成 20 年度 第 2 回財団法人新宿区生涯学習財団理事会議事録

- 1 日 時 平成 20 年 5 月 28 日 (水) 午後 2 時から 4 時まで
- 2 場 所 新宿コズミックセンター 3 階 大会議室
- 3 出席者 (理事現在数 15 名、定足数 10 名)
理事 中山 弘子 理事 酒井 敏男 理事 渡部 優子 理事 岡田 芳朗
理事 小澤 弘太郎 理事 佐藤 洋子 理事 白井 裕子 理事 武井 正子
理事 新田 満夫 理事 久塚 純一 理事 平田 達 理事 谷頭 美子
理事 小野寺 孝次

書面表決者

理事 小柴 和正 理事 橋本 巖

事務局

小野寺事務局長 林歴史博物館長 諏訪経営課長 世良事業一課長
森事業二課長 鈴木学芸課長 青木事業一課長補佐
堂元主任主事 岸田主任主事 武富主任主事 近藤主任主事
栗屋主任主事 堀田主任主事 橋爪主任主事 内藤主任主事
岡田主任主事 庭山主事

- 4 事務局より報告事項
第 1 回理事会の報告
理事長：中山理事 副理事長：酒井理事 常務理事：小野寺理事 が選任された。
- 5 議長の選任
新宿区生涯学習財団寄付行為第 25 条第 3 項により中山弘子理事長が選任された。
- 6 定足数の確認
理事 15 名中 15 名出席。(書面表決者 2 名を含む) 寄附行為第 26 条の規定による定足数を満たしており、理事会は有効に成立した。
- 7 議事録署名人の選任
寄附行為第 28 条の規定に基づき、武井理事と小野寺理事を署名人として選任した。
- 8 議題
(1) 議案第 2 号 財団法人新宿区生涯学習財団副理事長の選任について
(2) 議案第 3 号 平成 19 年度財団法人新宿区生涯学習財団事業実績報告(案)について

- (3) 議案第4号 平成19年度財団法人新宿区生涯学習財団収支決算(案)について
- (4) 議案第5号 財団法人新宿区生涯学習財団契約職員就業規定の一部を改正する規程(案)について
- (5) 議案第6号 財団法人新宿区生涯学習財団パートタイム労働者就業規定の一部を改正する規程(案)について
- (6) 議案第7号 財団法人新宿区所外学習財団セクシュアル・ハラスメントの防止等に関する規程(案)について
- (7) 議案第8号 業績係数の決定(案)について

9 議事の経過の概要及び結果

- (1) 議案第2号 財団法人新宿区生涯学習財団副理事長の選任について
(事務局より、議案第2号について、資料に基づき説明)
〔説明のあと、議案第2号について、質疑に入った〕
谷頭理事 渡部理事を推薦します。
小沢理事 谷頭理事の意見に賛同します。
中山理事 ただいま、渡部理事を推薦する意見が出ましたがいかがでしょうか。
全員異議なく、渡部理事を選任することを全員一致で可決した。
- (2) 議案第3号 平成19年度財団法人新宿区生涯学習財団事業実績報告(案)について
- (3) 議案第4号 平成19年度財団法人新宿区生涯学習財団収支決算(案)について
(事務局より、議案第3、4号について、資料に基づき説明)

鈴木監事より監査報告

平成20年5月20日に、神津監事とともに監査を行った。事業の監査については、財団の作成した事業実績報告に基づく検閲・質問により、事業は当初の計画のとおり着々と実施されていることを確認した。続いて会計の監査であるが、おもに財産目録に記載されている資産と負債の残高の実差を中心として行った。財産の管理は会計原則に基づく処理がなされて、財務諸表に表示された金額は公正妥当であるということを確認した。

〔説明のあと、議案第3、4号について、質疑に入った〕

新田理事 事業を実施するにあたり、少子化の影響はあるか。事業費に委託料が多いが、委託にあたり適正に判断されているか。新規事業は増えているが、事業の廃止は行っているか。

小野寺事務局長 総じて高齢者の参加が多く、子供の参加は少ない。しかしこの2~3年託児付きの事業は大幅に参加が増加している。専門技術を要するもの、たとえば清掃・警備等は専門業者に委託している。また、体育協会へ区民体育大会を委託するなど、区民団体への委託も行っている。ニーズに対応できず不振なものは廃止している。例えば「レガスポ20」は定員に達しなければ中止するなど、特に自主事業は意識している。

以上の質疑の後、議案第 3、4 号について、原案どおり全員一致で可決した。

(4) 議案第 5 号 財団法人新宿区生涯学習財団契約職員就業規定の一部を改正する規程(案)について

(事務局より、議案第 5 号について、資料に基づき説明)

〔説明のあと、議案第 5 号について、質疑に入った〕

特に質疑なく、議案第 5 号について原案どおり全員一致で可決した

(5) 議案第 6 号 財団法人新宿区生涯学習財団パートタイム労働者就業規定の一部を改正する規程(案)について

(事務局より、議案第 6 号について、資料に基づき説明)

〔説明のあと、議案第 6 号について、質疑に入った〕

特に質疑なく、議案第 6 号について、原案どおり全員一致で可決した

(6) 議案第 7 号 財団法人新宿区所外学習財団セクシュアル・ハラスメントの防止等に関する規程(案)について

(事務局より、議案第 7 号について、資料に基づき説明)

〔説明のあと、議案第 7 号について、質疑に入った〕

新田理事 我々は理事であるからには、この職場で起きることに責任を持たねばならない。ぜひ新宿の見本となるような職場にしていってほしい。もし何かあればすぐ報告してほしい。

白井理事 内容には異論ない。ただ、規程が適用されないような予防措置を考えてほしい。

諏訪課長 コンプライアンスについて研修を実施する予定である。セクシュアルハラスメントについても対応していきたい。

以上の質疑の後、議案第 7 号について、原案どおり全員一致で可決した。

(7) 議案第 8 号 業績係数の決定(案)について

(事務局より、議案第 8 号について、資料に基づき説明)

〔説明のあと、議案第 8 号について、質疑に入った〕

佐藤理事 1.325 という数値は、目標からみて十分なのか。

小野寺事務局長 最高では 1.44 となるが、それを実現するのはかなり困難なことである。

以上の質疑の後、議案第 8 号について、原案どおり全員一致で可決した

その他意見

谷頭理事 マラソンの区民参加率は走者の参加を示したもののか。周囲で参加したくても走れなかったという声を聞いたが、抽選で区民が参加を優先されることはないのか。

青木課長補佐 抽選ではなく定員に達したところで締め切った。「ひよこの部」は特に希望者が多いので、区民優先枠も検討していきたい。

谷頭理事 先着順ということか。

青木課長補佐 そのとおり。

小野寺事務局長 「ひよこの部」はこの数年、一週間足らずで定員に達してしまう状況。運営時間の問題もあるが、枠の拡大を考えたいと思っている。

中山理事 「ひよこの部」はとても魅力ある事業だと思う。運営上可能な限り、区民優先枠を設けてもよいと思う。

白井理事 マラソンは、区内の小中学生の参加が少ない。小中学生の体力が落ちている今日、一つのきっかけづくりとして学校教育と連携できないか。学校の窓口となる事業2課ができたということで、位置づけを検討してほしい。

小野寺事務局長 検討します。

中山理事 小中学生の参加をどう受け入れていくか、教育委員会とよく意見交換してほしい。

武井理事 知り合いに、区内ではないが、毎年学生を連れてマラソンに参加する教師がいる。ぜひ区内でも進めてほしい。

また人材バンクでは、資格を活用したい人は増えているが、登録しても活用する場がないという現実があるのではないかと。対策を考えてほしい。

小野寺局長 たとえば、中学生のアンケートによれば陸上はやりたい部活動第3位。しかし学校で体制を作れるところがほとんどない。今後はこうしたものについて、積極的に場を作っていきたい。

人材バンクは成熟していない制度だが、「お試し体験講座」など数多く実施しており芽はある。「団体委託講座」へつなげていきたい。

渡部理事 マラソンの小中学生の参加は、財団だけで進めていくのは難しい。教育委員会でも対応を考えていきたい。

谷頭理事 先ほど託児付きの講座が盛況と聞いたが、子育て中の方々にとても必要なことだと思うので、できる限り支援してほしい。

小野寺事務局長 「レガスポ」は大変人気がある。今後も広げていきたい。

白井理事 私もエアロビクスに行ったことがある。勤務者の立場から見ると夜のプログラムが少ないと思う。男性の参加も少ない。働く男性の方へのプログラム提供についてはいかがか。

小野寺事務局長 **中高年**ライフアップなどの講座では、男性の参加が多いものがあるが、まだ数は少ないので増やしていきたい。

中山理事 事務局はニーズを把握し前向きに取り組んでいる。理事の皆さんにはいろいろご意見いただけるとありがたい。

以上で第2回財団法人新宿区生涯学習財団理事会は終了となった。

以上、この議事録が正確であることを証明するために、議長及び議事録署名人は次のとおり署名する。

平成 年 月 日

議 長

議事録署名人

議事録署名人